

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	システム情報工学		
科目基礎情報								
科目番号	0009			科目区分	専門 / 選択			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	専攻科専門共通科目			対象学年	専1			
開設期	前期			週時間数	2			
教科書/教材	適宜プリントを配布する。							
担当教員	竹部 啓輔							
到達目標								
(科目コード：A0360, 英語名：Advanced Information Systems) (本科目は第4学期に実施する。週に2回行うので十分注意すること。授業計画の週は回と読み替えること。) この科目は長岡高専の教育目標の(C)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、長岡高専の学習・教育到達目標との関連は次の通りである。 ①システム開発に従事するような仕事に就いた場合に心掛けなければならない事柄を理解する。30% (C3), (E2)、②基本手順であるウォーターフォールモデルや、ブロックダイアグラム、状態遷移図などの手法について理解する。30% (C3)、③プロジェクトマネジメントの手法を理解する。40% (C3), (E2)								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	システム開発に従事するような仕事に就いた場合に心掛けなければならない事柄を説明できる。		システム開発に従事するような仕事に就いた場合に心掛けなければならない事柄を理解する。		システム開発に従事するような仕事に就いた場合に心掛けなければならない事柄を概ね理解する。		システム開発に従事するような仕事に就いた場合に心掛けなければならない事柄を理解していない。	
評価項目2	基本手順であるウォーターフォールモデルや、ブロックダイアグラム、状態遷移図などの手法について説明できる。		基本手順であるウォーターフォールモデルや、ブロックダイアグラム、状態遷移図などの手法について理解する。		基本手順であるウォーターフォールモデルや、ブロックダイアグラム、状態遷移図などの手法について概ね理解する。		基本手順であるウォーターフォールモデルや、ブロックダイアグラム、状態遷移図などの手法について理解していない。	
評価項目3	プロジェクトマネジメントの手法を説明できる。		プロジェクトマネジメントの手法を理解する。		プロジェクトマネジメントの手法を概ね理解する。		プロジェクトマネジメントの手法を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	システムの構築は、全体をよく見渡し、分析する作業から始まる。最初の段階でボタンの掛け違いを残したまま構築作業を行うと、取り返しがつかないことになってしまうからである。本講義では、前半、システムを構築するために必要なプロセスや、そこで用いられる手法について学び、後半では、大掛かりなシステム等の開発を立案し、開発、運用へと事業を進めていくための方法論として重要となっているプロジェクトマネジメントについて学ぶ。 ○関連する科目： 制御工学B（機械工学科、前々年度履修）、システム制御工学B（電気電子システム工学科、前年度履修）							
授業の進め方・方法	座学である。 この科目は学修単位科目であるため、事前・事後学習の確認のため、授業開始時に小テストを実施します。							
注意点	ほぼ毎回、授業開始時に小テストを実施する。遅刻のないように注意してほしい。							
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	授業内容の説明 システム設計とシステムエンジニア			システムエンジニアという職種がどのようなものか理解する		
		2週	システム開発プロジェクト（1） 情報システムとは			情報システムとは何か理解する		
		3週	システム開発プロジェクト（2） ITスキル標準			専門分化について理解する		
		4週	システム化の全体をつかむ（1） システム化のプロセス			システム化のプロセス全体について概要を理解する		
		5週	システム化の全体をつかむ（2） ウォーターフォールモデル／プロトタイプ法			ウォーターフォールモデルについて理解する プロトタイプ法などの開発手法について理解する		
		6週	システム化の全体をつかむ（3） システム化における各種手法（文書化）			システム開発において、文書化の際に用いられる図にどのようなものがあるか理解する		
		7週	システム化の全体をつかむ（4） システム化における各種手法（見積もり・意思決定）			見積もり手法について理解する		
	8週	システム化の全体のまとめ						
	2ndQ	9週	プロジェクトマネジメント（1） プロジェクトマネジメントとは			プロジェクトマネジメントとは何か、その概略を理解する		
		10週	プロジェクトマネジメント（2） プロジェクトの目標を明確にする			プロジェクトマネジメントの標準的なステップを理解する プロジェクト目標を明確にする手法を理解する		
		11週	プロジェクトマネジメント（3） ワークパッケージを洗い出す			ワークパッケージを洗い出し、WBSを作る手順を理解する		
		12週	プロジェクトマネジメント（4） 役割分担、所要時間の見積もり			WBSをもとに役割分担や所要時間の見積もりを行っていく手順を理解する		
		13週	プロジェクトマネジメント（5） クリティカルパスを見つける			作業ネットワーク図の作り方を理解する クリティカルパス分析の方法を理解する		
		14週	プロジェクトマネジメント（6） リスクに備える／進捗をコントロールする			リスク分析の手法を理解する プロジェクトの進捗の管理方法について理解する		
		15週	プロジェクトマネジメントのまとめ					
		16週	期末試験 17週：試験返却と解説、発展授業			試験時間：80分		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	

基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動 に関する基本的な責任事項を説明できる。	4	前8,前16
専門的能力	分野別の専 門工学	情報系分野	コンピュ ータシステム	システム設計には、要求される機能をハードウェアとソフトウェ アでどのように実現するかなどの要求の振り分けやシステム構成 の決定が含まれることを説明できる。	5	前8,前16
				ユーザの要求に従ってシステム設計を行うプロセスを説明するこ とができる。	5	前8,前16
				プロジェクト管理の必要性について説明できる。	5	前16
				WBSやPERT図など、プロジェクト管理手法の少なくとも一つにつ いて説明できる。	5	前16
				ER図やDFD、待ち行列モデルなど、ビジネスフロー分析手法の 少なくとも一つについて説明できる。	5	前8,前16
評価割合						
			試験	小テスト	合計	
総合評価割合			70	30	100	
基礎的能力			30	10	40	
専門的能力			30	10	40	
分野横断的能力			10	10	20	